

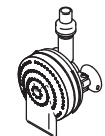
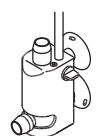
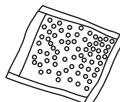

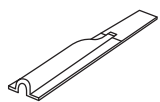
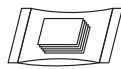


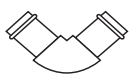
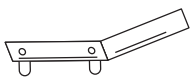
# 設置工事説明書

家庭用 24 時間風呂  
オシウス エヌ  
**Osius N**  
CKV-330

- 設置工事は、本設置工事説明書に従って正しく行ってください。設置が不完全な場合は、感電・火災・ケガ・水漏れの原因になります。
- 事前に設置場所をお客様と打ち合わせの上決定してください。また、壁にコード貫通穴を開けるなどの工事内容をお客様に詳しく説明してください。
- 本設置工事説明書は工事終了後、必ずお客様にお渡しください。
- 設置工事説明書、取扱説明書の記載通りに設置およびご使用されなかった場合の製品の故障、事故について当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

## 付属品一覧（開梱時、必ず確認してください）

- ・  取扱説明書 ..... 1部
- ・  設置工事説明書 ..... 1部
- ・  保証書 ..... 1部

<input type="checkbox"/> 入水ユニット  1個	<input type="checkbox"/> 出水ユニット  1個	<input type="checkbox"/> ろ材  1袋	<input type="checkbox"/> ホース  3.6m×1本	<input type="checkbox"/> ホースカバー  1セット
<input type="checkbox"/> 両面テープ  6枚分	<input type="checkbox"/> シリコンエルボ  3個	<input type="checkbox"/> ホース連結管  3個	<input type="checkbox"/> 樹脂エルボ  5個	<input type="checkbox"/> キャップスパナ  1個



# 1 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。



## 警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

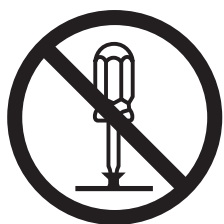
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



記号は、**警告・注意** を促す内容があることをお知らせするものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

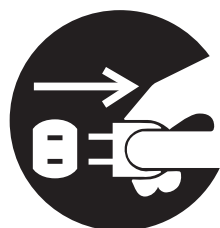
例  一般的な注意



記号は、**禁止の行為** であることを告げるものです。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

例  一般的な使用禁止



記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください）が描かれています。

例  一般的な指示  必ずアースを接続せよ

お読みになった後は、取扱説明書および保証書とともに必ず保管してください。

# 警告

## 感電・火災の恐れあり



- お客様ご自身での工事はしない。

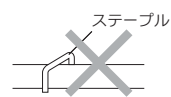
本体の設置および移設についてはお買い上げの販売店に依頼してください。

- 電源コードおよび漏電保護プラグは、破損したり加工したりしない。また、重いものを置いたり、過熱したり、引っ張ったりしない。



- 電源コードの固定にステープルを使用しない。

電源コードは、F-3号モールを使って配線し、壁にしっかりと固定してください。



- 電源は、AC100V (50/60Hz) 以外使用しない。

- 差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。

- 電源コンセントは浴室および屋外コンセントを使用しない。

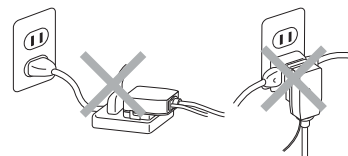
- お客様ご自身で電源コンセントの増設、配線の追加、延長などの電気工事はしない。

必ず電気工事店に依頼してください。(電気工事は、標準工事費に含まれておりません。)

- 電源コンセントは、他の器具と併用しない。

(延長コード、三又コンセントなどを使用しない)

定格15A以上の電源コンセントに単独で直接接続してください。



- 漏電保護プラグは、電源コードを上向きにして電源コンセントに差し込まない。

漏電保護プラグは、コードを下向きにして、確実に電源コンセントに差し込んでください。



- 水道管、ガス管等にアース線を接続しない。

感電防止のためアース工事 (D種接地工事) を行ってください。



- アースを必ず接続する。




コンセントのアース端子への接続、またはD種接地工事が必要です。

D種接地工事は、必ず電気工事店に依頼してください。

(電気工事は、標準工事費に含まれておりません)


# 警告

## 感電・火災の恐れあり

	●設置・配線工事の際の壁への穴開け、電源コードの固定は、屋内配線・屋内配管を傷つけない。
	●濡れた手で漏電保護プラグの抜き差しをしない。
	●漏電保護プラグに水をかけない。
	●設置に際しては、設置工事説明書に従って確実にを行う。
	●配線工事は、電気設備技術基準や内線規定に従い、安全、確実にを行う。
	●必ず漏電保護プラグを使用する。
	●アース工事および配線作業は必ず漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて行う。

# 注意

## 感電・火災の恐れあり

	●水はけの悪い場所、水やお湯がかかりやすい場所に本体を設置しない。 本体は防水構造ではありませんので水没することがないように水はけの良い場所に設置してください。
	●電源コードは、ドアや戸に挟まない。

# 注意

## 感電・火災の恐れあり



- 電源コードは直接戸や壁を通さない。  
電源コードを戸や壁に通す場合は必ず硬質ビニール管もしくは耐水性の絶縁管で保護してください。
- 漏電保護プラグを取り外し、市販のプラグに交換して使用しない。

## ケガなどの恐れあり



- 施工後は、金属片やタイル片などをきれいに取り除く。
- ホースやコード類は壁のコーナーや隅に沿って引き回す。

## 水漏れの恐れあり



- 耐熱性、耐水性の部材以外は工事に使用しない。

## 感電・ケガの恐れあり



- 本体の棚置きはしない。
- 本体の転倒防止なしの設置は行わない。  
転倒防止はしっかりと確実に行ってください。

# 注意

## その他



● **電力会社との契約電流（アンペア）を確認する。**

保温用ヒーターが入ったとき約9Aの電流を使いますので、他の機器を使用したときにブレーカーがしばしば働く原因になります。

・容量が不足する場合は、契約電流（アンペア）を見直す必要があります。

● **施工時は浴槽に毛布などをかぶせて行う。**

毛布などをかぶせていないと浴槽にキズが入り、補償問題になることがあります。

● **本機の設置場所は、お客様と十分打ち合わせの上決める。**

壁に電源コードの貫通穴やねじ穴を開けますので、途中変更になると補償問題になることがあります。

## 2 工事にあたって

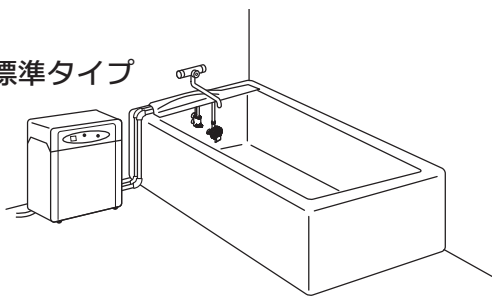
### 24時間風呂とはとは？

24時間連続して浴水を一定の温度に保ち、浴水を浄化する商品です。風呂の追い焚き釜や給湯装置と違い、お風呂の浴水が24時間連続して循環しており、日常お客様のお手入れが必要な商品です。また、設置工事の良し悪しが性能に影響しますので、注意事項や設置工事説明書をご覧ください、正しくお取り付けください。

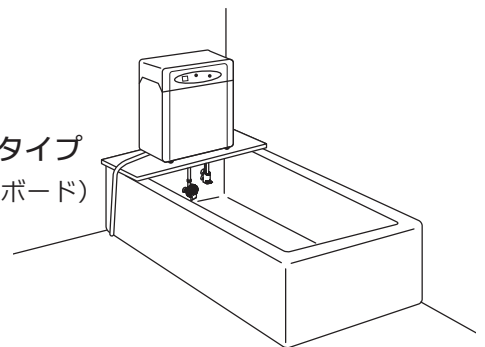
### 設置工事について

設置のタイプには下図のように3タイプあります。お取り付け前にお客様と設置タイプについて相談していただき、必要に応じて追加部材を販売店へ注文してください。

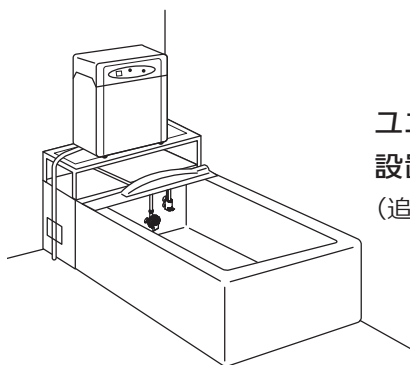
標準タイプ



浴槽の上に設置するタイプ  
(追加部材：人工大理石ボード)



ユニットフレームの上に  
設置するタイプ  
(追加部材：ユニットフレーム)



※追加部材は、お客様のご負担とさせていただきます。

### 注意

- 本体の浴室外設置は絶対にしない。

### 浴槽との適性について！

ポリエステル系人工大理石浴槽など、一部の浴槽には浴水を長期にわたり貯めて継続使用しますと、浴槽の表面に荒れ、膨れ、変色が起こる場合があります。また、浴槽に使われている排水口やチェーンなど金属部の中には、水質によりメッキがはがれてしまう場合がありますので、本機設置前に浴槽メーカーに確認してください。金具などはステンレス製の部品を使用してください。

# 3 目次

---

<b>1</b>	<b>安全上のご注意</b> .....	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>工事にあたって</b> .....	<b>6</b>
<b>3</b>	<b>目次</b> .....	<b>7</b>
<b>4</b>	<b>設置工事</b> .....	<b>8</b>
	1. 取付工事前の説明と確認 .....	8
	2. 24時間風呂本体 取付工事の基本 .....	8
	3. 本体、入水ユニット、出水ユニットの取付位置の確認 .....	9
	4. 設置タイプ別設置工事 .....	9
	5. 電源コードの処理 .....	14
	6. アース工事 .....	17
	7. ホースカバーの取り付け .....	18
	8. 転倒防止工事 .....	18
	9. 漏電保護プラグの取り付け .....	19
	10. ろ材のセット .....	20
	11. 本体の運転と動作の確認 .....	21
	12. むかえ水のしかた .....	22
	13. 工事完了の立ち会いと確認 .....	22
	14. 本体がうまく作動しないとき（故障診断） .....	23
<b>5</b>	<b>お客様への説明</b> .....	<b>24</b>

# 4 設置工事

## 1. 取付工事前の説明と確認

取付工事を行う前に設置工事の内容を、お客様に説明および確認してください。

## 2. 24時間風呂本体 取付工事の基本

(1) 入水ユニット・出水ユニットと本体を接続するホースは、なるべく短くなるように、また、樹脂エルボを使用するときは、なるべく少なくなるように配管してください。

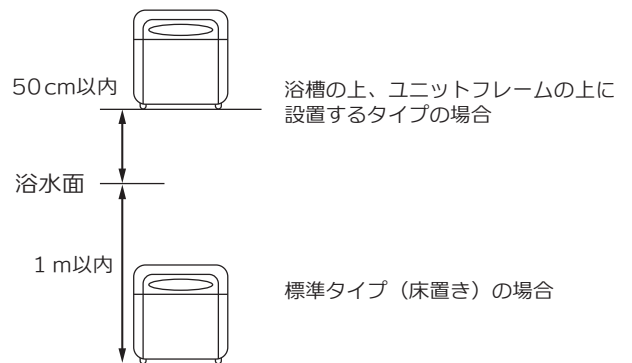
- 理由・配管抵抗が大きくなると、水流が弱くなり性能が低下します。  
・水流が弱いと配管内に汚れが付きやすくなります。

### お願い

- 付属のホース以上にホースを延長しないでください。  
性能低下および、故障の原因になります。

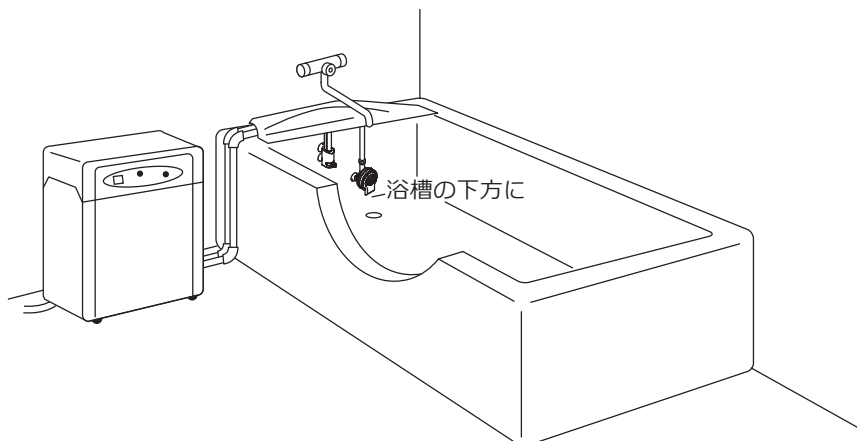
(2) 本体の取付高さは、浴槽の水面より、上方50cm 下方1m以内（本体底面基準）となるように設置してください。

- 理由・操作、お手入れがしやすくなります。  
・浴水が循環しやすくなります。



(3) フィルターセットの吸込口は、なるべく浴槽の下方になるようにしてください。  
(吸込口が浴槽の底部の中央を向くようにしてください)

- 理由・毛やその他の汚れは浴槽の底部に溜まりやすいため、早く吸引できます。



### 3. 本体、入水ユニット、出水ユニットの取付位置の確認

下記の点に注意して、設置場所をお客様と相談してください。

#### <浴槽>

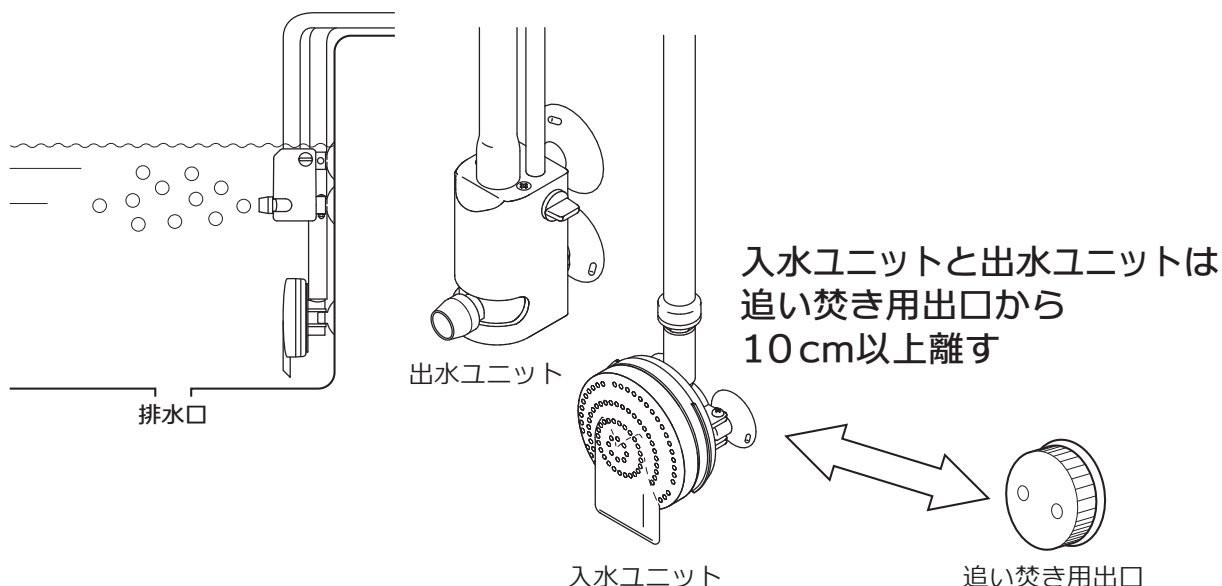
- ・本書p.6「浴槽との適性について！」参照のこと

#### <本体>

- ・シャワーなどの水が、あまりかからない場所であること。
- ・本体の操作がしやすい場所であること。
- ・本体のお手入れができる場所であること。
- ・電源コンセントまでの配線が本体の電源コード（7m）で間に合うこと。  
（無理な場合は、お客様へ電源コンセントの増設をご説明いただき、電気工事店へ依頼してください。工事費は、お客様のご負担になります。）

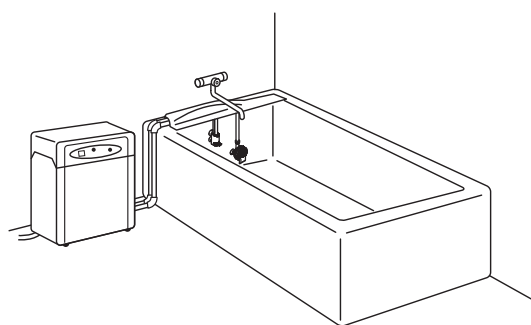
#### <入水ユニット・出水ユニット>

- ・浴槽排水口のなるべく近くにフィルターセットの吸込口が向いていること。（浴槽底の汚れを吸いやすくするため）
- ・フィルターセットの吸込口が常に水面下になるように、位置調節すること。
- ・エアホースはホース先端が浴槽外に出ていること。
- ・追い焚き釜のお湯出口のある場合は10cm以上離すこと。（熱変形防止のため）



### 4. 設置タイプ別設置工事

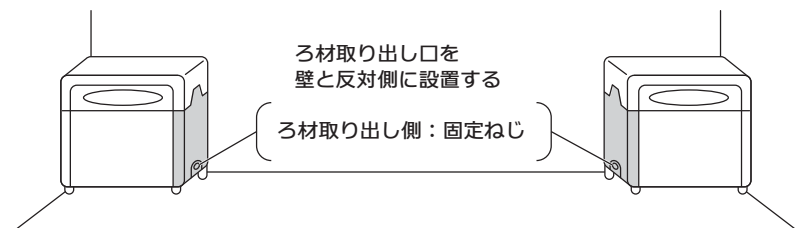
#### <標準タイプ>



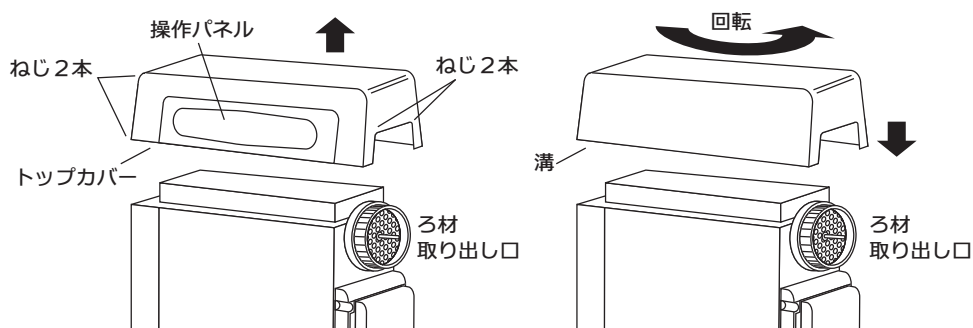
浴槽に隣接した床面などに本体を置く、最も標準的なタイプです。

名称	工事内容	追加部材
標準タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体を床面などに設置する。</li> <li>●コードを浴室外に取り出す。</li> <li>●コードをモールでカバーする。</li> </ul>	—

(1) 本体のろ材取り出し口が壁側にくる場合は、その向きを変更してください。



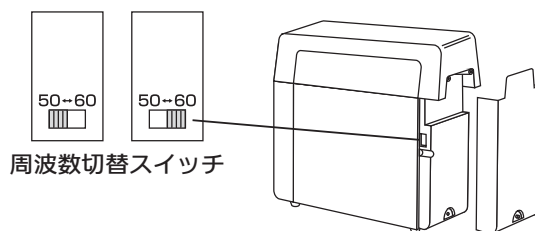
1. 左右のサイドカバーを外します。(固定ねじ、プラスねじ)
2. トップカバーの両サイドのねじ(両サイド2本ずつ)を外すとトップカバーが外れます。
3. トップカバーを180度回転させ、はめます。このとき周囲の溝をきちんとはめるよう注意します。  
※このとき操作パネルとコントロールボックス間のコネクターは外さないでください。  
※配線を挟みこまないように注意してください。
4. 2で外したねじを止めます。
5. ろ材取り出し側には固定ねじ、反対側にはプラスねじを用い、サイドカバーを取り付けます。



(2) 「周波数切替スイッチ」を、使用する地域の電源周波数に合わせて使用してください。  
電源周波数について不明な場合は電力会社に問い合わせてください。

※工場出荷時は50Hzにセットされています。60Hz地域でご使用の場合は必ず変更してください。

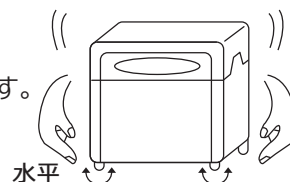
※周波数切替スイッチは、ろ材取り出し口と反対側のサイドカバー(プラスねじ側)を外した側面にあります。スイッチには防水カバーが付いていますので、変更後には必ずカバーを付けてください。



(3) 水はけが良く本体が浸水しない場所へ設置して、  
本体が水平になるように脚の高さを調節してください。

※本体が傾斜(約40°)すると、安全装置が働いて運転が停止します。

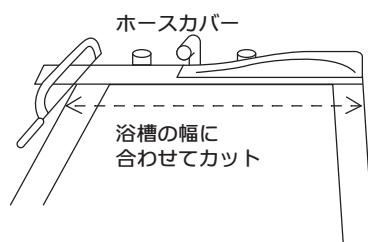
水平で丈夫な床に設置してください。



(4) ホースカバーは浴槽の幅に合わせて切断して取り付けます。

### ⚠ 注意

- カット部はケガをしないようにヤスリなどでまearめておくこと。  
詳しくは「7. ホースカバーの取り付け」(p.18 参照)をご覧ください。



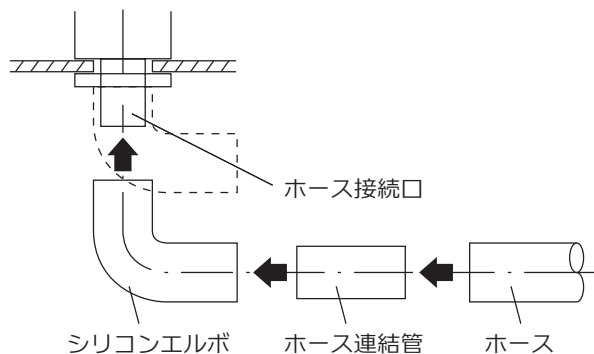
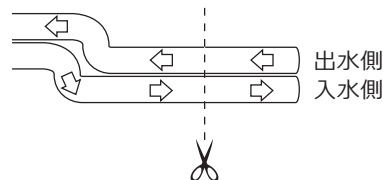
- (5) 水の流れる方向とホースに印刷された矢印を間違えないように、2本のホースを入水ユニットと出水ユニットへ差し込み、各ユニットの吸盤を浴槽へ押しあてて設置します。  
 ホースがつぶれないように配管し、ホースの曲がり角は付属の樹脂エルボを使います。  
 ※ガス釜などを設置している場合、ガス釜のお湯出口より10 cm以上離して取り付けてください。  
 ※付属品以外の樹脂エルボは使わないでください。流量が低下し、本体の機能が十分に発揮できない場合があります。



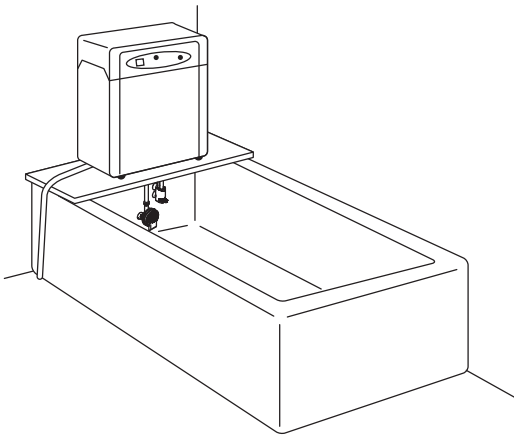
- (6) ホースカバーにホース2本とエアホース1本を通し、位置を決めてください。  
 ※装着・固定については、「7. ホースカバーの取り付け」(p.18参照)をご覧ください。
- (7) 本体底部にある3個の入・出・排水口 栓を取り外してください。
- (8) 各ホースの長さは必要に応じて切って使用してください。
- (9) 付属のシリコンエルボ・ホース連結管を用い、本体底部の入水口・出水口に間違えないように、それぞれホースの矢印の方向を確認してホースを接続します。  
 ・ホースと付属のシリコンエルボを、ホース連結管を用いて接続します。  
 ・ホースと接続したシリコンエルボを、ホースの向きに合わせて本体底のホース接続口へ奥に当たるまで差し込みます。
- (10) ホースの切り残しを利用した排水ホースと、付属のシリコンエルボ・ホース連結管を用いて排水口へ接続します。通常この排水は浴室の洗い場の排水口へ流します。  
 ※排水ホースが足りない場合は、別売していますので、お求めください。

### お願い

- 排水時、排水ホースから水が勢いよく流れ出てきます。  
 最大 30L / 分 排水されるので、その点を考慮して工事をお願いします。



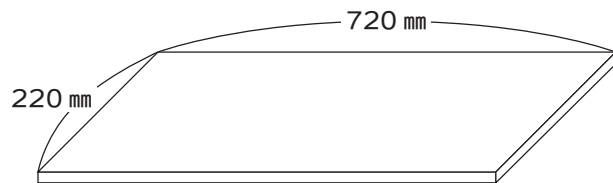
## <浴槽の上に設置するタイプ>



浴室にスペースがない場合、浴槽の片側に人工大理石ボードを置いて、その上に設置します。

名称	工事内容	追加部材
浴槽上設置タイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体を浴槽の上に設置する。</li> <li>●コードを浴室外に取り出す。</li> <li>●コードをモールでカバーする。</li> </ul>	人工大理石ボード ※

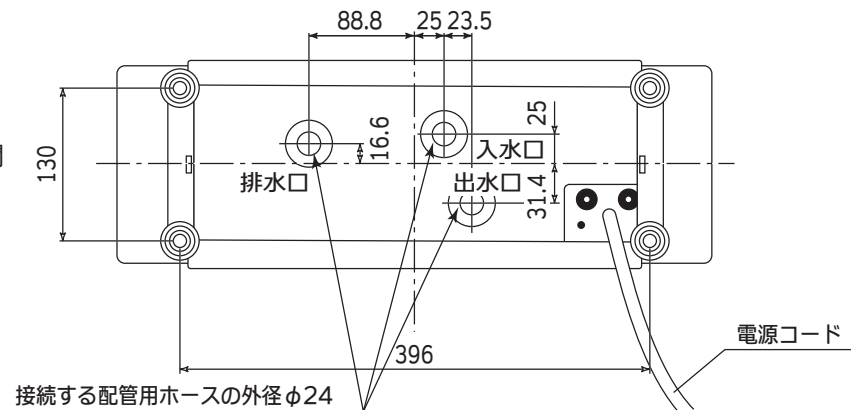
※人工大理石ボードは別料金です。



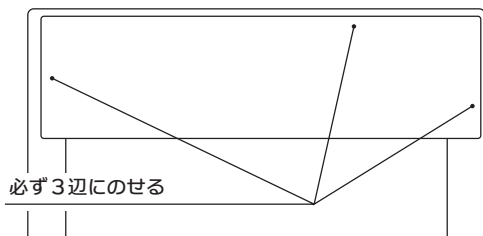
(1) 下図を参考にして、人工大理石ボード（追加部材）を加工してください。

※ボードへの穴加工は、“入水口”と“出水口”および“エアーストーン用φ10”の3つの穴を開ける。

※穴はホールソーを使用。穴は裏表両方から開ける。



(2) 人工大理石ボードは必ず三辺支持で設置してください。また、設置面をなるべく多くとるようにしてください。（本体がなるべく浴槽で支えられるように設置してください）

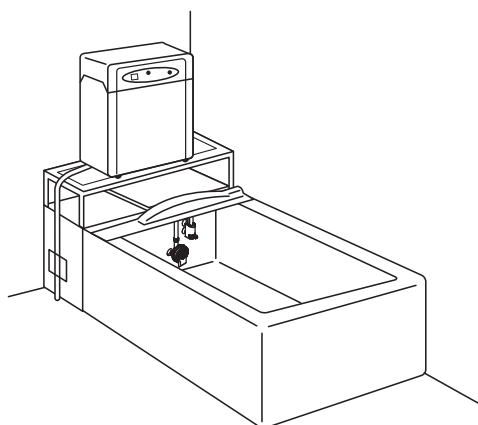


### ⚠ 注意

- カッタ面その他のエッジはケガの原因となるので、面取加工する。

(3) 以下は、標準タイプと同様に、取り付けてください。

## <ユニットフレームの上に設置するタイプ>



浴室に隣接してバランス釜のある浴槽では、その上を利用します。ユニットフレームを設置して、その上に本体を設置します。

名称	工事内容	追加部材
ユニットフレームタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体をユニットフレームの上に設置する。</li> <li>●コードを浴室外へ出す工事をする。</li> <li>●コードをモールでカバーする。</li> </ul>	ユニットフレーム ※

※ユニットフレームは別料金です。

ユニットフレーム仕様		
①パイプ 900mm	8本	
②プラジョイント PJ-001	4個	
③プラジョイント PJ-204C	8個	
④アジャスター JB-401	4個	
⑤固定用 PJ-706	2個	

※追加や新たなパーツが必要な場合は、販売店へ注文してください。

(1) 下図を参考にして、ユニットフレームを設置場所と配管に合わせて、加工・組み立てを行ってください。

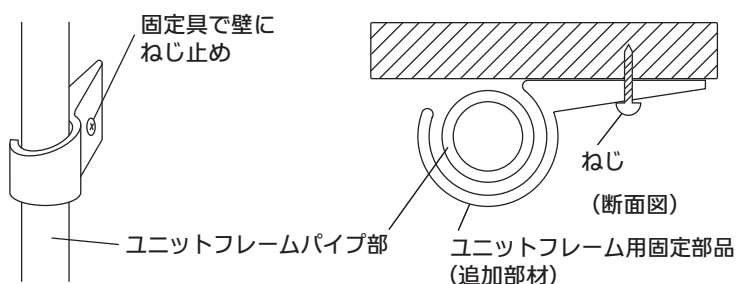
※ユニットフレームの寸法は、できるかぎり高さを低くし、床設置寸法を広くしてください。

(2) ユニットフレームを接着してください。

(接着剤：矢崎化工(株) イレクター専用接着液)

(3) ユニットフレームを必ず壁に固定してください。(2点以上で固定)

※壁の構造を考えて十分に保持強度が出るようにしてください。



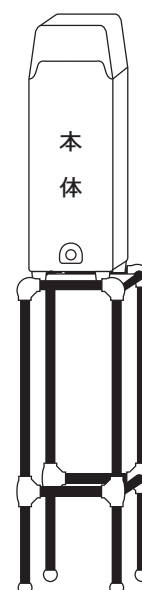
### 注意

●ステンレス製のねじを使用する。

### 注意

●フレームを切断する際は、古紙などを敷き、キリコが飛ばないようにその上で作業してください。サビの原因になります。

<ユニットフレーム使用例>



(4) 以下は、標準タイプと同様に、取り付けてください。

## 5. 電源コードの処理

### (1) 電源コード配線の注意事項

電源コードはモールを使用し、保護と美観のためできるだけ目につかないところを通してください。

#### ⚠ 注意

- シャワーの水が多くかかる場所は避ける。
- 浴室外へ出す電源コードの穴は水のかからない場所を選ぶ。
- 壁に穴を開けたところは必ずコーキングする。(防水のため穴加工は床から高い位置にしてください)  
感電・火災の原因になることがあります。

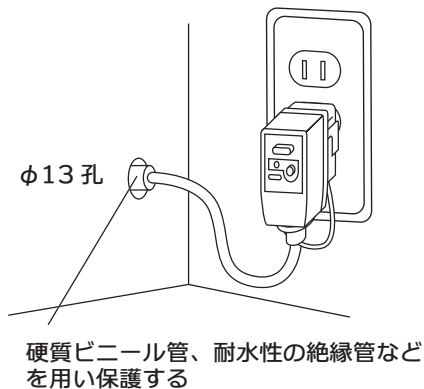
### (2) 穴開け時の注意事項および穴開け方法の注意事項

#### ⚠ 注意

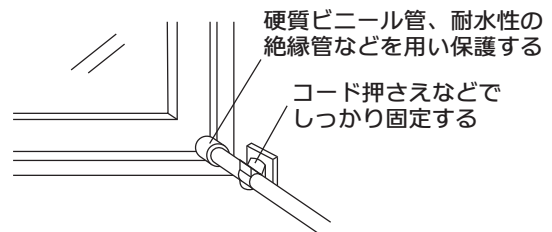
- 給水管および給湯管を傷つけない。
- ガス管を傷つけない。
- 壁の中の配線に注意する。
- 壁貫通の穴は、床からなるべく高い位置にする。
- 部屋の角には壁下地用の添え柱があるので注意する。
- タイルの穴開けは必ず目地に開ける。
- ブロック積み浴室は、腰までブロックを積んでその上に土台を回してある構造のものもかなりの比率であるので、電源コード穴を開けるときは土台を避けるようにする。
- 必ず硬質ビニール管もしくは耐水性のある絶縁管で電源コードを保護する。
- 電源コード貫通部のエッジ部が電源コードに当たらないように、ブッシング等を用い保護を行う。  
水漏れ・感電・火災などの原因になることがあります。

#### <穴開け例> 電源コード：約7m、外径φ10mm

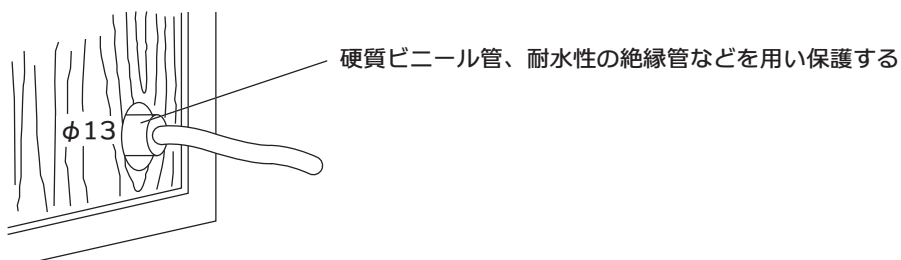
##### 例1. 壁に穴を開ける方法



##### 例2. 戸のコーナーを切りかいて電源コードを通す方法



##### 例3. 戸に穴を開ける方法

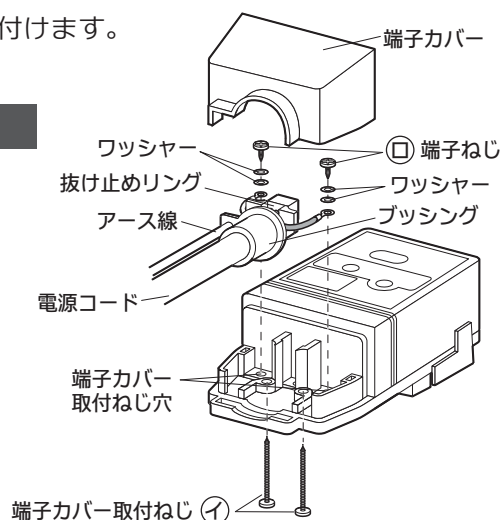


### (3) 電源コードを穴に通す方法

電源コードを穴に通すために、次のように漏電保護プラグを電源コードから取り外し、電源コードを穴に通した後、漏電保護プラグを電源コードにしっかり取り付けます。

#### 電源コードを漏電保護プラグから取り外す。

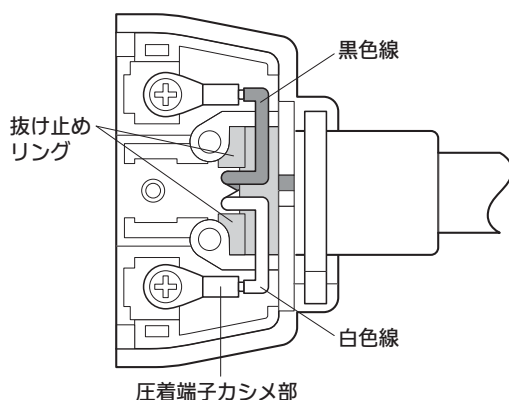
1. 漏電保護プラグの端子カバー取付ねじ (イ) (2本) を外し、端子カバーを外す。
2. 端子ねじ (㊦) (2本) を外す。
3. ブッシングと抜け止めリングを漏電保護プラグから外す。
4. 抜け止めリングから電源電線 (白、黒色線) を外す。
5. ブッシングを電源コードから抜き取る。



#### 電源コードを壁などの穴および硬質ビニル管または耐水性の絶縁管などに通す。

#### 電源コードを漏電保護プラグに取り付ける。

1. 電源コードをブッシングに通す。
  - ブッシングの向きを間違えないこと。
2. 電源電線 (白、黒色線) を下図のように抜け止めリングに取り付ける。
3. ブッシングと抜け止めリングをカバー溝にはめる。



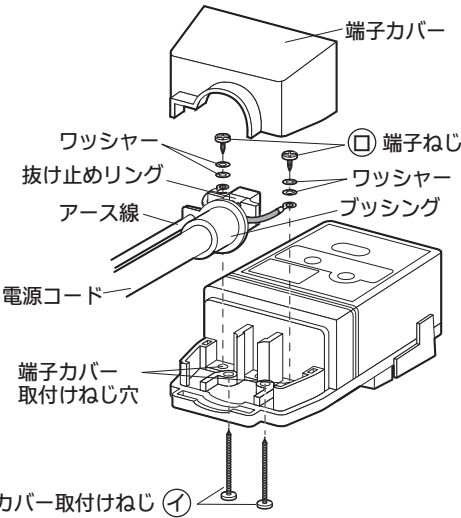
#### ⚠ 注意

- 電源電線の引張強度が低下し、火災の原因になることがあるので、電源電線 (白、黒色線) は、抜け止めリングに取り付けてから挿入する。

4. 電源電線（白、黒色線）を端子ねじ ㊦（2本）で締め付ける。（締め付けトルク：0.7～0.9 N・m）

**注意**

- 火災の恐れがあるので、圧着端子カシメ部は必ず上向きにして締め付ける。
- 感電・火災の恐れがあるので、端子ねじ ㊦（2本）は、しっかり締め付ける。



5. 端子カバーを端子カバー取付けねじ ㊧（2本）で締め付ける。（締め付けトルク：0.5～0.8 N・m）

**(4) 電源コードにモールをつけるときのお願い**

浴室内および浴室外の電源コードにモールをつけてください。

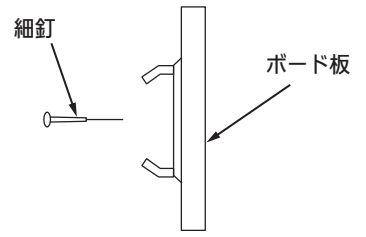
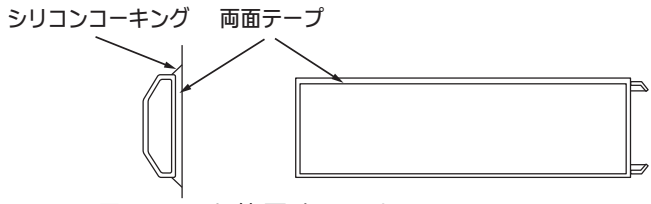
**お願い**

- モールの配置は、なるべく目につかないようにしてください。
- モールの色は、なるべく壁の色に合わせてください。
- モールは、はがれ落ちないように、両面テープとシリコンコーキングでつけてください。
- 下図の例を参考にしてください。

専用曲がりカバーを使用      出角に専用エンドカバーを使用      入角に専用エンドカバーを使用

**<モールの固定方法>**

- 壁の材質や構造を考えて、十分な強度が出るように施工してください。
- 下図は両面テープとシリコンコーキング使用例です。 ●下図は細釘とボード板使用例です。



- ※F-3号モールを使用すること。
- ※両面テープは、幅25mmのものを使用すること。
- ※両面テープやシリコンコーキングで接着する前に壁面の水分と汚れを十分に落とす。（油分の除去はアルコールが適しています。）

## 6. アース工事（万一の感電事故防止のため、必ず行ってください）

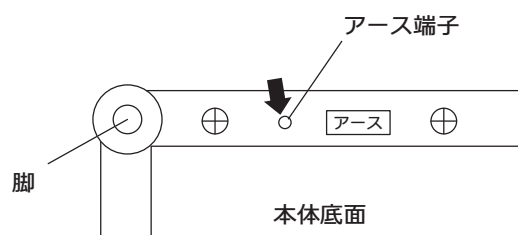
### (1) 電源コンセントのアース端子に接続する場合

1. 漏電保護プラグのブッシングから出ているアース線（色：緑／黄）  
先端の被覆を、切り込みから引き抜きます。
2. アース線の芯線を電源コンセントのアース端子に確実に固定します。



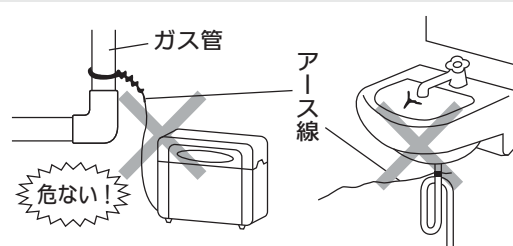
### (2) アース付コンセントでない場合

- 必ずD種接地工事を行ってください。
  - アース工事は電気設備技術基準に基づいて、電気工事士の方が行ってください。
- ※必要に応じて、本体底面にあるアース端子も利用してください、  
また別売品としてアース棒付アース線もありますので、  
ご利用の際は販売店にお問い合わせください。
- ※電気工事は、標準工事費に含まれておりません。  
別途、費用がかかります。



### 警告

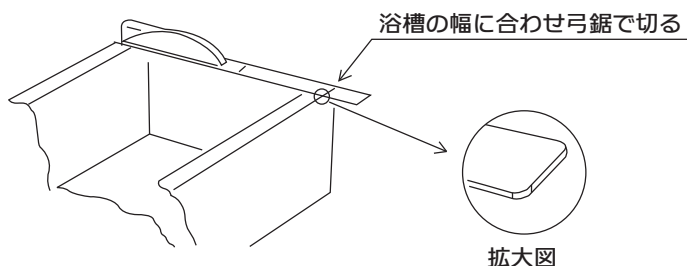
- 水道管、ガス管などにアース線を接続しない。  
感電防止のため、アース工事（D種接地工事）  
を行ってください。



## 7. ホースカバーの取り付け

ホースカバーを浴槽とホースに合わせて、加工・取り付けしてください。

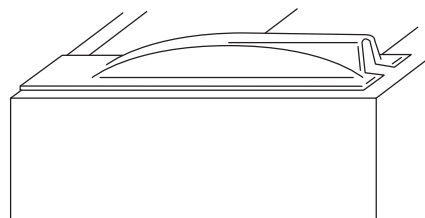
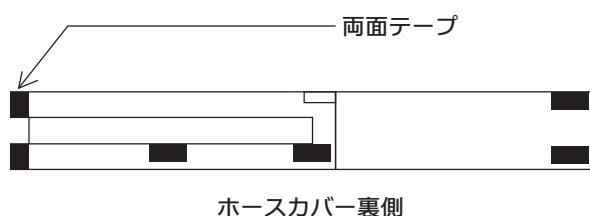
- 両面テープは水分に弱く、水分が浸透することによって接着力が低下するため、浴槽の両面テープ接着部はタオルなどで水分をよく拭き取ってください。
- お風呂のふたの取り付け、取り外しに支障がないようにしてください。



### ⚠ 注意

- ケガの恐れがあるため、切り口はヤスリをかけ、角は面取加工する。

- 浴槽の接着面は、汚れを取り除き、十分に乾燥させてから接着してください。  
(油分の除去は、アルコールが適しています)

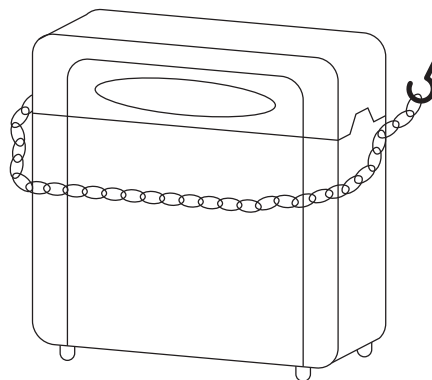


## 8. 転倒防止工事

本体が転倒しないように、本体背面のフックなどを利用し、浴室の壁などに本体をしっかり固定します。（壁の材質や構造を考えて、十分な強度が出るように施工してください。）または、本体全体をプラスチックもしくはステンレス製のチェーンなどで固定することもできます。

### ⚠ 注意

- 感電・ケガの恐れがあるため、必ず転倒防止を行う。

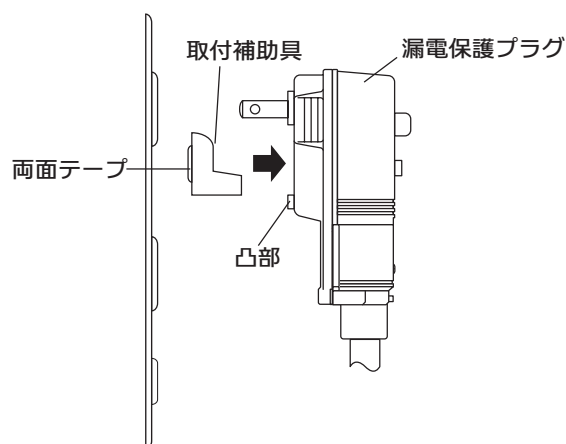


## 9. 漏電保護プラグの取り付け

漏電保護プラグを電源コンセントへ取り付ける準備を行います。漏電保護プラグは、付属品の取付補助具を使用して、電源コンセントにしっかり取り付けてください。取付補助具は（１）～（４）の順で取り付けてください。

### <取付補助具の取り付け>

- （１）凸部に位置を合わせてはめる。
- （２）両面テープの保護紙をはがす。
- （３）漏電保護プラグごと電源コンセントに差し込み、全体をよく押さえる。
- （４）漏電保護プラグを電源コンセントから抜く。



### ⚠ 注意

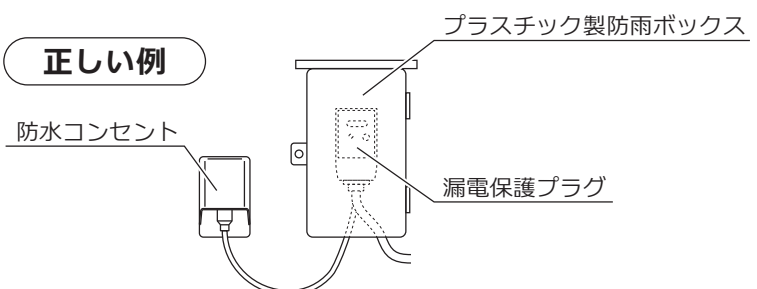
- 漏電保護プラグをタコ足配線や延長コードには接続しないでください。
- 電源コンセントは、他の器具と併用しない。  
（定格 15A 以上の電源コンセントに単独で直接、接続する）
- 漏電保護プラグは電源コードを上向きにして電源コンセントへ差し込まない。
- 電源は AC100V (50 / 60 Hz) 以外使用しない。  
（感電・火災の原因になります）
- 防水コンセントに直接差し込んで使用しないでください。  
防水コンセントを使用する場合は専用回路であることを確認し、防水コンセント横にプラスチック製防雨ボックスなどを設置して、防水コンセントに接続してください。

#### <防水コンセントを使用する場合>

##### 間違った例

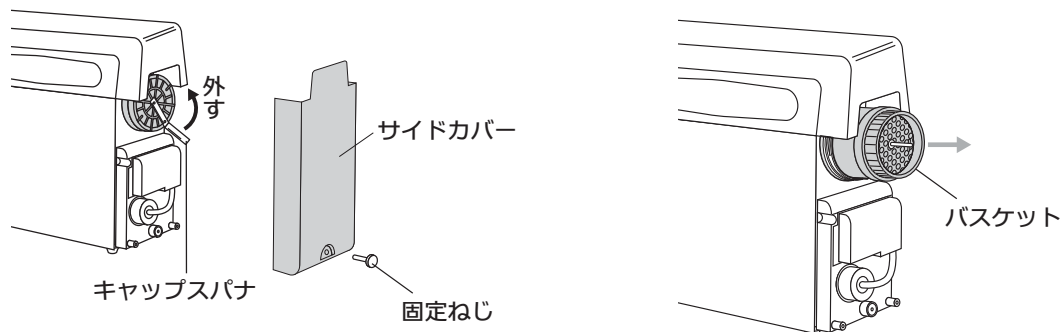


##### 正しい例



## 10. ろ材のセット

- (1) サイドカバーの固定ねじを緩め、サイドカバーを外し、キャップを付属のキャップスパナを用いて外します。バスケットを本体から取り出してください。



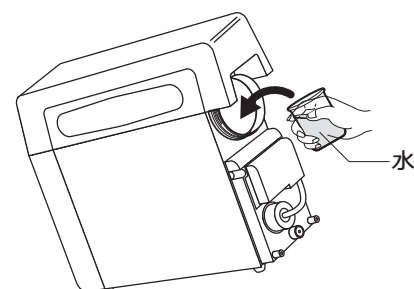
- (2) 付属品の中からろ材を取り出し、バスケットに入れてください。



- (3) バスケットの上から水をそそいで、ろ材から粉が出なくなるまで十分にすすいでください。

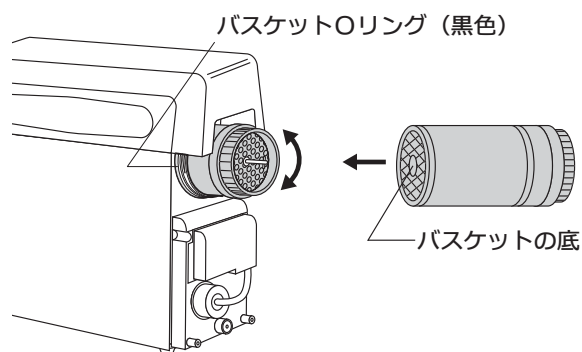
- (4) 本体を傾け、コップ1杯分程度（約200ml）の水をそそぎます。

※奥にある穴に入るように流し込んでください。



- (5) バスケットをバスケットの底から本体へセットします。奥までセットしたところで、少し回転させ、回転部がきちんとはまっているか確認します。

※バスケットリングがきちんとセットされていることを確認してください。



### お願い

- 奥まで入っていないと、キャップが締まらず水漏れの原因となります。

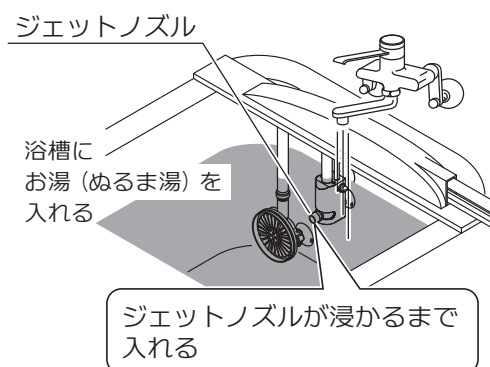
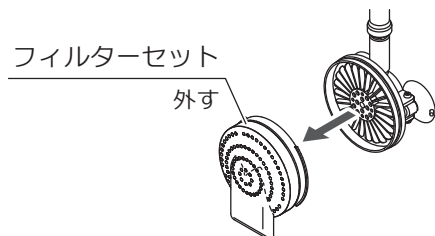
- (6) キャップを元通り、キャップスパナでしっかりと締め付けます。

- (7) ろ材をセットし終わったら元のようにサイドカバーを取り付けてください。

## 11. 本体の運転と動作の確認

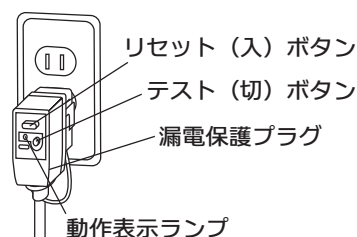
### <運転方法>

- (1) フィルターセットを外し、出水ユニットのジェットノズルが十分に浸かるまで浴槽にお湯（ぬるま湯）を入れてください。



- (2) 漏電保護プラグの「リセットボタン」を押し、操作パネルの「運転ボタン」を押して本体を運転させてください。

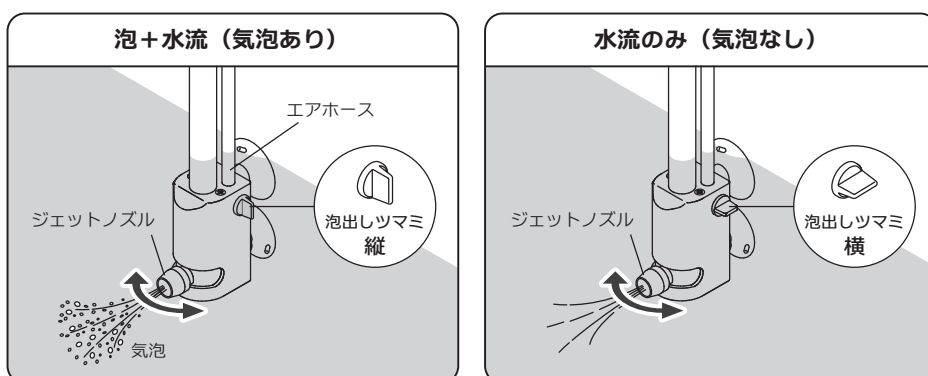
※本体内のポンプが浴水を吸い上げられず、運転を開始できないときは一度運転を停止し、「むかえ水のしかた」(p.22)を行ってから「運転ボタン」を押してください。



- (3) 運転が始まったらトップフィルターセットを入水ユニットに取り付けてください。  
※出水ユニットのつまみは横（気泡なし）にして取り付けてください。

- (4) 添付の「取扱説明書」の各部の名称を参考に操作パネルを操作して、下記の動作を確認してください。

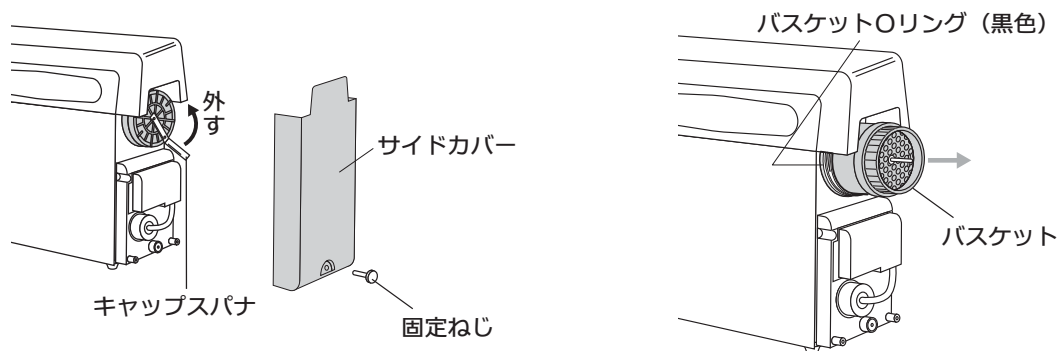
1. 「温度設定ボタン」の△か▽を1回押し、点滅表示させてから「温度設定ボタン」△▽を押すごとに、温度設定表示が変更できること。  
(1回押すごとに、1℃上昇または下降することを確認)  
(出荷時は41℃設定です)
2. 「流速切替ボタン」を長押しし、循環する水流が強くなること（「強」運転・流速ランプ点滅）。  
(同時に本体のポンプの音も変化します)
3. 出水ユニットの泡出しつまみを縦にして、泡が出ること。



- (5) 取扱説明書裏に製造番号・設置日・工事担当者名を油性インキなどで消えないように記入してください。

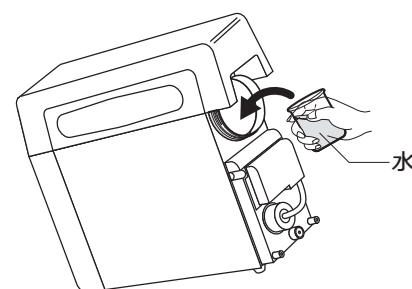
## 12. むかえ水のしかた

- (1) サイドカバーの固定ねじを緩め、サイドカバーを外し、キャップを付属のキャップスパナを用いて外します。バスケットを本体から取り出してください。



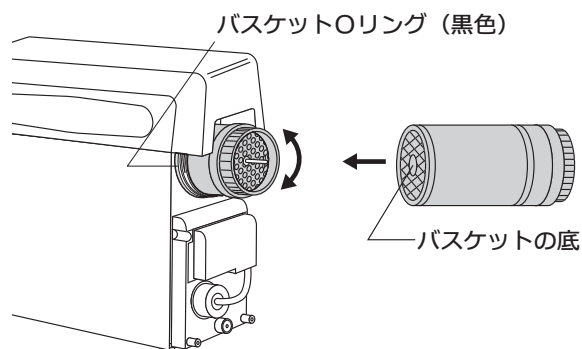
- (2) 本体を傾け、コップ1杯分程度 (約200ml) の水をそそぎます。

※奥にある穴に入るように流し込んでください。



- (3) バスケットをバスケットの底から本体へセットします。奥までセットしたところで、少し回転させ、回転部がきちんとはまっているか確認します。

※バスケットリングがきちんとセットされていることを確認してください。



### お願い

- 奥まで入っていませんと、キャップが締まらず水漏れの原因となります。

- (4) キャップを元通り、キャップスパナでしっかりと締め付けます。
- (5) ろ材をセットし終わったら元のようにサイドカバーを取り付けてください。

## 13. 工事完了の立ち会いと確認

お客様に設置工事完了の立ち会い、および確認をしていただいでください。

## 14. 本体がうまく作動しないとき（故障診断）

温度表示部に下記の異常表示が出たときは、異常が考えられますので、下記の処置を行ってください。  
処置後、なお異常表示が出る場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店までご連絡ください。

表示例	表示例	処置方法
E0 (湯温と交互)	水流センサー部の目づまり	配管洗浄を行ってください。
E1	水温センサーの故障	[運転ボタン] を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店へご連絡ください。
E2	追い焚き、その他による浴水の温度上昇 (水温センサー [47℃] の作動)	浴水の温度を設定温度付近まで下げ、[運転ボタン] を押し て本体を停止させ、しばらくして再度押してください。
E3	ホースの折れ	正しく配管を直してください。
	むかえ水不足	再度むかえ水を行ってください。 (むかえ水を長めに行ってください)
	入水口・出水口の接続間違い	正しく配管を直してください。
E4	通常運転時、ヒーターの空焚き (ヒーターの空焚き防止装置の作動)	保温を切って配管洗浄を行ってください。 改善されない場合は販売店へご連絡ください。
4E	熱洗浄 (CL) 時、ヒーターの空焚き (ヒーターの空焚き防止装置の作動)	
E5	バスケットのセット不良	バスケットをセットし直してください。
	洗浄モーターの故障	[運転ボタン] を押して一度停止させて再運転してみ てください。 それでも同じエラーが再現するようでしたら、[運転ボ タン] を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源 コンセントから抜き、販売店へご連絡ください。
E6	切替弁の故障	
E7	切替弁の故障	
E8	コントロールボックスの故障	
8E	ヒーターの故障	
E9	熱洗浄時の異常	
(表示なし)	[運転ボタン] が押されていない	[運転ボタン] を押してください。 運転ランプが点灯します。
	電源コンセントから漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んでください。
	傾斜センサーの作動 (漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯)	本体の傾きを修正して漏電保護プラグの [リセットボタン] を押してください。 運転が継続すれば問題ありません。 (注：運転が継続しない場合は本体より漏電している恐れ がありますので販売店へご連絡ください。)
	操作ボックスとコントロールボックス間の コネクターの抜け	本体のトップカバーを外し、コネクターを確認してください。

## 自動お手入れ表示について

以下の表示は本体が自動でお手入れを行っている表示です。異常表示ではありません。

CS	ろ材攪拌洗浄動作	バスケット内のろ材に付着している汚れを洗浄していま す。約 1 分で通常運転に戻ります。動作開始時期を変 更する場合は取扱説明書の p.15 をご覧ください。
CL	熱洗浄動作	30 ~ 50 分程で通常運転に戻りますので、しばらく待っ てから入浴してください。動作開始時間を変更する場 合は取扱説明書の p.16 をご覧ください。

# 5 お客様への説明

---

## 1. 付属品で残っている下記のものをお客様にお渡しください。

- 取扱説明書 ○設置工事説明書 ○保証書 ○キャップスパナ
- トップフィルター（予備） ○残ったホース類 ○使用しなかった部材や残った部品

## 2. 別紙「取扱説明書」を参考にして、下記の操作を説明してください。

- (1) 操作パネルの操作方法について
- (2) 運転および停止方法について
- (3) 浴水の浄化について
- (4) 日常のお手入れの目安について
- (5) トップフィルターの洗浄と浴槽内面のヌメリの除去について
- (6) ろ材の手洗浄、浄化部および本体洗浄について

## 3. 「取扱説明書」を必ずお読みいただき、「保証書」とともに大切に保管していただくよう説明してください。





〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1